

長岡地区租税教育推進協議会 会長賞 佳作

税を納めて豊かな暮らしを

長岡市立宮内中学校

三年 山崎 優衣

「税金」この言葉について考えたことがなかった。少し調べてみると、私たちは消費税や所得税、法人税といったたくさん税金を納めている。そして税金を納めることは憲法で定められた義務であると知った。

では、私たちが納めなくてはいけない税金は身の回りや、何に使われているのか。私は雪の多く降る新潟県だからこそ使われている税があると思った。

冬、ここ新潟はたくさん雪が降る。朝起きるとたくさん雪で庭が埋まっている。学校に行くのも、大雪の時には車で送ってもらう。私の家の前は消雪パイプが設置されておらず、除雪がされない。大雪の日は通ることができない。ある日家の前が雪で埋もれていて車の走ることのできる道がなかった。この時、大雪の冬に学校へ行ったり外出ができたりしているのは、朝早くから除雪車に乗り除雪をしている人がいるからだ。と気づいた。そして、この除雪車が動いているのは税のおかげであるのだと知った。

だが、もしみんなが税金を納めなかったらどうなるだろう。除雪車を購入するお金がなかったり、運転をする人がいなくなったりするだろう。そして大雪の日は、道路が雪に埋もれ外には一切出

られないような、考えられない大変な生活になると考えられる。このように考えてみると、私たちの当たり前の環境は、税金によって守られ、作られてきたものなのだ。と実感することができると、

しかし、私がそうだったように税金について考えようとしたら、考えるきっかけがなければ税の大切さに気付くことができないだろう。だが、税金は私たちの生活をたくさん支えている。除雪以外にも、私たちが受けている学校教育、ごみの処理、医療など：生きていくためになくてはならないことにも税は使われている。税はそれだけ重要なものである。だからこそ、全ての人が税金を納めなければいけない。

現在、日本では少子高齢化が進み税金を納める人口が減少していくなど税に関してたくさん問題が上がっていて、将来の予測も立てられている。しかし、税金がなければ国のために働く人がいなくなり、そんな国では暮らしていけない。

これからを生きる私たちが税について正しく知る必要がある。そして、税金を一人一人がきちんと納めなければならない。それこそが、私たちが日本で暮らしていく上での義務である。